

2023年度 公益財団法人田口福寿会事業計画

近年、地域社会における人々の暮らし方や働き方、価値観が多様化し、他人を思いやる心、「互助」「共助」の精神が薄らいできており、加えて急速に進行する少子高齢化・人口減少の中で、財政も厳しさを増し「公助」の力の低下が危惧されております。

また一昨年来、世界を翻弄してきた新型コロナウイルス感染症は、その第7波によりやく収束の兆しが見えつつあるとは言え、感染拡大による経済的な困難が依然として続き、加えてロシアのウクライナ侵攻の影響による資源価格の高騰、さらには歴史的な円安により、急激な物価上昇が続いており、当財団が支援する多くの人たちにもダメージを与えています。

当財団は、昭和42年に設立されて以来、基本理念であります相互扶助の精神に基づき、福祉、教育、芸術文化、スポーツなどの各分野にわたって助成をしてまいりました。

とりわけ2018年以降、給付型の奨学金の充実に力を入れており、ひとり親家庭の高校生向け奨学金の大幅増額、ひとり親家庭の大学生や児童養護施設退所者等への奨学金の創設を行ってきました。そして、2022年度からはひとり親家庭大学生の採用枠を25人程度に増員するなど、奨学金の充実に努めてきたところです。

今年度は特に、急激な物価上昇への対応という観点から、子どもの貧困対策や子育て支援対策などの支援に力を入れつつ、相互扶助の精神に基づいて各種助成事業を行います。

その助成事業費は6億133万円であり、内訳は次のとおりです。

事業	内容	予算額
1. 育英奨学事業	1. 田口育英金の支給 岐阜県内に在住し、高校への進学、就学を望みながら、主に経済的理由のために進学、就学が困難なひとり親家庭（両親ともいない家庭を含む。）の生徒及び児童養護施設等に入所もしくは里親等に委託中の生徒に対して育英金を支給する。	2億8,008万円
	2. AFS奨学金の支給 岐阜県内に在住し、かつ県下の高校・高専に在学するAFSの年間留学生に対して奨学金を支給する。	500万円

1. 育英奨学事業	3. 田口福寿会奨学金の支給及び奨学生交流会等の開催	・当財団が指定する岐阜県内5圏域の公立高等学校の卒業生で、国・公立大学へ進学をした者のうち、ひとり親家庭等のため、学費の支弁が困難な学生に対して、奨学金を支給する。また奨学生交流会やガイダンス等を開催する。	6,360 万円
	4. 田口福寿会夢奨学金の支給及び奨学生交流会等の開催	・岐阜県内の児童養護施設、児童自立支援施設、児童心理治療施設又は自立援助ホームに入所中またはこれらを退所した者もしくは里親又はファミリーホームへ委託中または委託を解除された者で、国内の大学等へ進学をした者のうち、保護者等からの経済的支援が見込まれず、学費の支弁が困難な学生に対して奨学金を支給する。また奨学生交流会やガイダンス等を開催する。	1,465 万円
2. 助成事業	1. 福祉・教育・芸術文化・スポーツ及び地域社会の発展振興につながる事業に対する助成	福祉・教育・芸術文化・スポーツなどの各分野において公益性が高い事業及び地域社会の発展振興に効果的に貢献できる事業を行っている岐阜県内の団体等または県内で事業を行っている団体等に対して助成する。	2 億 100 万円
	2. 田口文庫の寄贈	岐阜県下の公立小学校ならびに特別支援学校に対し、学校教育の充実と学習環境の向上を目的として、学校が希望する図書を寄贈する。	3,700 万円
助成事業費合計			6 億 133 万円